

学校だより



# 井波っ子

令和5年6月22日

南砺市立井波小学校

6月号 第346号

井波小学校HPアドレス  
<https://inami-e.nanto.ed.jp/>

(題字は昨年度県書き初め大会出場児童)

## 「チーム担任制」による学習から

教務主任 松本 恵美

南砺市の小中・義務教育学校において「チーム担任制」が導入され、本校では、学年合同の学習や、教科担任制での学習を行っています。

合同学習では、2クラスと一緒に学習しており、子供の数が増えることによって、多様な活動を取り入れたり、多様な考えに触れたりすることができます。体育科は、全学年が合同で行っており、活動の場を多く準備したり、多くのチームで対戦し合ったりし、ダイナミックな学習活動にすることができます。また、個々の学習課題や進度に合った少人数グループに分けた学習も行うことができます。3～6年生の総合的な学習の時間には、追究課題別に相談したり話し合ったりして学習を進めています。3年生と6年生の算数科では、教員を3人にし、学習の進め方別に3つの教室に分かれて少人数で学習しています。子供が自分の学習の進め方に合った学びの場を選ぶことで意欲的に学習を進め、子供同士が互いに相談にのったり教え合ったりする姿も見られます。

教科担任制では、二人の担任が担当する教科を決めて指導しています。そうすることによって教員の専門性を生かし、授業をよりよくすることができます。

チーム担任制により、ベテラン教員が若手教員に教えたり相談にのったりする協力体制が取りやすくなりました。また、複数の教員の目で子供の様子を見取り、情報交換したり細かな支援をしたりすることができるようになっていきます。今後も教師がチームとなって子供たちの学習活動や支援がよりよいものになるように工夫していきたいと思えます。



<6年生合同体育>

## 「歯がつるつるになった」

養護教諭 渡辺 梨沙

6月4日～10日の「歯と口の健康週間」に合わせて、全校児童に「家族すこやか歯みがきカード」とカラーテスター2個を配布しました。子供たちは、家族と相談し、歯みがきの目当てを決めて取り組みました。カラーテスターは、家族と自分で1個ずつ使用したり、「歯と口の健康週間」の前後に自分が2個使用したりするなど、各自が決めて使いました。

私自身も、先日、小学生の息子と「親子歯みがき教室」に参加しました。染め出しを行うと、かみ合わせ部分や歯と歯ぐきの間等赤く染まっている所が多くありました。息子の歯みがきは、決して丁寧とは言えず「もうみがいたの？」と聞いてしまうくらい短時間なこともありましたが、歯みがき教室では、鏡を見ながら赤く染まった所がなくなるまで、しっかりみがくことができました。また、その後は家でもいつもより嫌がらずに歯みがきをするようになりました。家族に言われても、なかなか身に付かない歯みがきも、「自分で気付く」ことで、意識が高まったのだと思います。

本校の保護者の方の感想からも、「染め出しをして、思った以上にみがき残しがあることに驚いていました。仕上げみがきをしたら、「歯がつるつるになった」と言っていました。」「親子で染め出しをしました。思っていたより汚れが多く残っていたので、毎日の歯みがきをもっと丁寧にしようと思えました。」など、染め出しを通して様々な気づきがあった様子が分かりました。口の中の健康は悪化するまで気づきにくいことも多いため、子供たち自身が自分の歯みがきを振り返ったり、口の中の健康に関心をもったりできるよう、今後も家庭と協力して呼びかけていきたいと思えます。